

大牟田市立大正小学校

1 本校のESDの特徴

(1) 活動のねらい

「持続可能な社会を構築するための人づくり」を目的とし学校・地域・保護者が世界遺産の美しいまちづくりを目指し、協働的な活動を通して、地域を愛する児童の育成に取り組む。

(2) 活動の目指す成果

- ①郷土(地域)を愛する心の育成
- ②地域の環境や郷土に関心を持てる子どもの育成
- ③ 持続発展教育に求められる価値観、人間性を育む
- ④ユネスコスクール加盟校として、ESDの活動を国内や国外の学校に紹介する。
- ⑤ひまわりプロジェクトの体験を通して、地域とのつながりを深め、美しいまちづくりの意識を高める。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

(1) ESDの視点に立った学習指導の目標 (視点整理型アプローチ)

○教科等の学習指導を進める中で「持続可能な社会づくりに向けての課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力・態度を身につける」ことを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う。

(2) 活動の視点

◇ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度 (単元構成に位置づけ)

- | | |
|---------------|------------------|
| ○批判的に思考・判断する力 | ○未来像を予測して計画を立てる力 |
| ○多面的、総合的に考える力 | ○コミュニケーションを行う力 |
| ○他者と協力する態度 | ○つながりを尊重する態度 |
| ○責任を重んじる態度 | |

(3) 主な活動

- <1年生> 「こうえんであそぼう」「あきをさがそう」
- <2年生> 「レッツゴーたんけん」「あきのまち」
- <3年生> 「私たちの街じまん」
- <4年生> 「バリアフリー社会を考えよう」
- <5年生> 「エコ生活を広げよう」
- <6年生> 「大牟田の歴史遺産を未来に伝えよう」
「わたしの未来のゆめを伝えよう」
- <全学年> 「ひまわりプロジェクト」学校・地域一体型

3 特徴的な活動事例

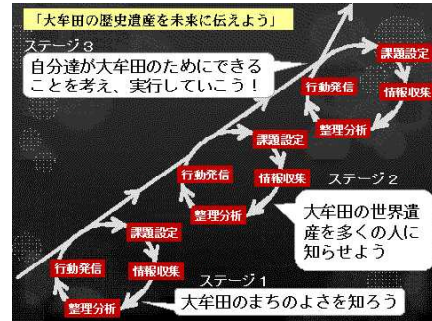
<第6学年 「大牟田の歴史遺産を未来に伝えよう」>

(1) 学習のねらい

- ①「世界遺産そのものへの誇り」
- ②「それらの世界遺産を築いてきた先人の思いに対する誇り」
- ③「それらの世界遺産を後世へと引き継いでいこうという誇り」

(2) 単元構成

単元構成では、3つのステージを構成した。ステージごとに、【課題設定】【情報収集】【整理分析】【行動発信】活動を設定し、スパイラル方式で取り組んでいった。



(3) 活動の実際

<ステージ1>「大牟田のまちのよさを知ろう」

では、世界遺産登録前に市長の「出前講座」や子ども自身による情報収集を行い、整理分析を行った。行動発信では、大牟田の窓口である大牟田駅の清掃活動を行った。

<ステージ2>「世界遺産を多くの人に知らせよう」

では、もっと詳しく知りたいという思いから世界遺産文化財推進課の方に来ていただき、質問をしながら情報収集を行った。整理分析では、世界遺産登録が決まったらどんなことができるか話し合い、登録の喜びを駅前チラシ配布など多くの人に知ってもらおうと計画し、号外新聞として内容ごとの作成を行った。

行動発信では、世界遺産登録発表後、作成した号外新聞を大牟田駅で配布し登録の喜びを分かち合った。

10月には、修学旅行先の長崎の大浦小学校と交流会を行い、互いの世界遺産を紹介しつながりを深める交流ができた。

これらの発信の活動では、新聞や放送局にも放映され、子供たちは勿論、保護者や、地域の方の喜びとなり大牟田の誇りを感じられた活動であった。

<ステージ3>「自分達が大牟田のためにできることを考え、実行していこう！」

では、大牟田の窓口である大牟田駅に清掃活動と共に、美しい花で大牟田に来られた方を迎えようと話し合い、花植活動を行った。この花は、ACCUCU（アジア文化センター）からの寄贈で、プランターや花壇に植え付けを行った。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・単元構成を工夫し、子供たち自身が世界遺産登録の喜びを発信したり、大浦小学校と交流したりして喜びを持ちながら活動し、郷土の誇りを持たせることができた。

○課題

- ・子供たちの探究的な活動を継続的に進めていくために、単元構成の工夫や内容の見直しが必要である。